

平成26年度

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟総合体育大会 柔道大会 要項

- 1 主催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会  
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 平成26年7月19日(土) 7時00分 開場  
7時50分 集合・計量  
8時30分 審判会議  
8時45分 開会式  
9時00分 試合開始
- 4 会場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905  
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定(2014施行の新ルール)および「少年大会申し合せ事項」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項を優先する。
- 6 選手 (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。  
(2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。  
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。  
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。  
(5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。  
(6)個人戦は、各体重別とする。
- |      |                |      |                |
|------|----------------|------|----------------|
| <男子> | 50kg以下         | <女子> | 40kg以下         |
|      | 50kg超 ~ 55kg以下 |      | 40kg超 ~ 44kg以下 |
|      | 55kg超 ~ 60kg以下 |      | 44kg超 ~ 48kg以下 |
|      | 60kg超 ~ 66kg以下 |      | 48kg超 ~ 52kg以下 |
|      | 66kg超 ~ 73kg以下 |      | 52kg超 ~ 57kg以下 |
|      | 73kg超 ~ 81kg以下 |      | 57kg超 ~ 63kg以下 |
|      | 81kg超 ~ 90kg以下 |      | 63kg超 ~ 70kg以下 |
|      | 90kg超          |      | 70kg超          |
- 7 試合時間 《団体戦》予選リーグ2分 決勝トーナメント3分  
《個人戦》準々決勝まで2分 準決勝・決勝3分
- 8 試合方法 《団体戦》団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が2段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。  
(1)男子は1組2または3校のリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2校、8校によるトーナメント戦を行う。女子は1組4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校、6校によるトーナメント戦を行う。  
(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。  
(ア) 勝ち数による。  
(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。  
(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。  
(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。  
(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。  
(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。  
(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。  
(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数による。  
(ウ) (イ)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。  
(エ) (ウ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。  
(オ) (エ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。  
(カ) (オ)において同等の場合は、代表戦により決定する。  
(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

- (ア) 勝ち数による。
- (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
- (ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。
- (エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。
- (オ) (エ)において同等の場合は、代表戦により決定する。

《個人戦》個人戦における判定基準は、「有効」または「指導1」以上とする。

(1)各階級でトーナメント戦を行う。

9 表 彰

団体戦の優勝校には、優勝杯及び賞状を授与し、第2位校には準優勝杯及び賞状を授与し、第3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級ごとに別途定める。

10 代表資格

《男子 団体戦》本大会では、優勝校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《女子 団体戦》本大会では、シード校（玉村中）を除いた上位第1位、第2位が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《男子・女子 個人戦》個人戦においては、各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第2位とする。男子の各階級の選手登録が16名につき、代表資格者が1名増える。女子は各階級の選手登録が8名につき、代表資格者が1名増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

11 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

(1)男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

(2)決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

《個人戦》

(1)得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。ただし、準決勝、決勝、3位決定戦では得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

12 その他

(1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5~10cm下に下記のように付ける。

(2)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(3)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

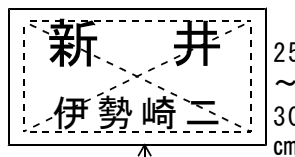
(4)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。

(5)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

(ゼッケン)  
30~35(cm)

|                     |   |   |   |   |   |
|---------------------|---|---|---|---|---|
| 先                   | 次 | 中 | 副 | 大 | 学 |
|                     |   |   |   |   | 校 |
|                     |   |   |   |   | 名 |
|                     |   |   |   |   | 補 |
|                     |   |   |   |   | 員 |
| (白模造紙1/4 または B4を2枚) |   |   |   |   |   |



- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。
- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。